

第211回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成27年9月3日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)
古磯 勝子 (副委員長)
早川 富美子
青木 敬信
君島 理恵
畠山 大
町田 明久

(2) 放送事業者側出席者 大森 敏秋 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

8月7日の「RBZ friday」で放送した「東北復興応援バスツアー」の様子について、試聴と意見交換を行った。

事業者

去る7月12日・13日に1泊2日の日程でリスナー32名が参加して

「東北復興応援バスツアー」のイベントを行い、その現地での様子を収録し、今回紹介しました。

そこで被災地である陸前高田市や女川町を訪問し、語り部の方に当時の様子や復興地の現状を伺いました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

震災から4年を経た今、改めて、“ふるさと”、“ボランティア”、“命”について考えさせられるメッセージ性の強い、良い番組だった。

放送では、いろいろと配慮が必要な内容もあったが、うまくまとまっていた。

委員：

佐藤アナウンサーは2人の語り部の心情を気遣いながら、丁寧にインタビューをし、とても印象的な話をうまく引き出していた。

委員：

放送の中で聞こえてきた棚橋さんの相槌が気になったが、番組最後のまとめの部分では、なるほどと思える良い感想を述べていた。

委員：

語り部の佐々木さんの話からは、怒りの矛先の向け場所が無い悲しさ・辛さの気持ちがにじみ出ていた。また、その気持ちを乗り越え、復興に向かって、前向きに歩き出している思いがひしひしと伝わってきた。

委員：

語り部の2人の話はとても印象的だった。人選はとても良かったが2人は普段から語り部として活動をしているのか？

事業者：

佐々木さん、遠藤さんとも、これまでに何度か依頼を受けて、現地を訪れる人向けに語り部としてその様子を伝えているようだ。

当時の様子を語るだけではなく、復興に向けて新たな気持ちで頑張っていこうという強い思いが感じられる良い話を聞き出すことが出来た。

委員：

参加者の声が1名しか放送されていなかった。もっと多くの参加者の声を聞きたかった。

事業者：

参加者の多くが同じような感想を述べていた。

今回は放送出来る時間が限られていたため、やむを得ず、代表的な1名の話を選んで放送した。

委員：

ある程度似た意見であっても、参加者の年齢層などがわかるよう、なるべく多くの声を放送してほしい。また、最後のまとめパートでは、参加者の事後アンケートを生読み上げるなど、工夫がほしい。

委員：

32名の参加者が東北で何を感じたかが伝わってこなかった。企画の趣旨を考え、語り部の方が実際にバスの中で参加者に話している様子を紹介したり、参加者目線で、“見たもの”、“感じたもの”などを、番組の中でもっと表現してほしい。

委員：

パーソナリティと同行して、被災地を回るのは良い企画だ。
被災地の人々のおもてなしの心が感じられた。
現地に行ってみることが、彼らの復興の後押しになると思った。

委員：

パーソナリティがツアー参加の引率から、放送のためのインタビューまでをこなし、大変だったと思う。スタッフを増やしても良かったのではないかと。
また、次回開催の際は、若い人でも参加しやすいようなツアー日程を検討してほしい。

事業者：

日程によって、ツアー金額の設定が大きく変わってくる。バスツアーの参加者は比較的、年齢層が高めな傾向があるが、次回のイベントでは、日程を再考したい。

委員：

メッセージ性の強い放送だからこそ、それを汲み取った日本語の曲を選択したのは良かった。

委員：

震災から時が経ち、あの当時の記憶が徐々に薄れゆく中、この放送を通して、改めて、思い出し、また、考えることが出来た。
震災の記憶が風化していかないよう、メディアとして今回の声や事実を、番組という方法で、人々に伝えていく機会を作っていくことは大切なことだ。
有意義な企画であり、今後も、こういった企画や放送を実施してほしい。

事業者：

前向きになれている被災者は一部であり、マイクを向けづらい事実もあった。
例えば、穏やかになった海を実際に目にした時、放送としてどう言葉で伝えるか難しかった。
改めて、参加者の声などを編集し直し、放送尺を増やして、再度、放送をしたい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を10月1日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月27日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし